

決算短信補足資料

(2021年3月期 第1四半期決算)

2020年7月31日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	対前年		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想 (7/31)
			増減	比率(%)		
	A	B	B-A	B/A	C	D
【連結】						
営業収益	3,657	1,633	▲ 2,023	44.7	15,082	—
営業利益又は損失 (▲)	660	▲ 942	▲ 1,602	—	1,606	—
経常利益又は損失 (▲)	622	▲ 997	▲ 1,620	—	1,483	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は純損失(▲)	425	▲ 767	▲ 1,192	—	893	—
【単体】						
営業収益	2,484	934	▲ 1,550	37.6	9,619	—
運輸収入	2,233	721	▲ 1,511	32.3	8,568	—
営業費用	1,885	1,755	▲ 130	93.1	8,421	—
人件費	542	520	▲ 21	96.0	2,146	—
物件費	843	752	▲ 91	89.2	4,243	—
動力費	113	97	▲ 15	86.2	454	—
修繕費	260	266	+6	102.3	1,664	—
業務費	469	387	▲ 81	82.6	2,124	—
減価償却費	330	334	+3	101.2	1,382	—
営業利益又は損失 (▲)	599	▲ 821	▲ 1,420	—	1,197	—
経常利益又は損失 (▲)	572	▲ 869	▲ 1,442	—	1,069	—
四半期(当期)純利益又は純損失(▲)	400	▲ 617	▲ 1,018	—	735	—

2. 単体損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	対前年		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想 (7/31)
			増減	比率(%)		
	A	B	B-A	B/A	C	D
営業収益	2,484	934	▲ 1,550	37.6	9,619	—
運輸収入	2,233	721	▲ 1,511	32.3	8,568	—
その他収入	251	212	▲ 38	84.6	1,050	—
営業費用	1,885	1,755	▲ 130	93.1	8,421	—
人件費	542	520	▲ 21	96.0	2,146	—
物件費	843	752	▲ 91	89.2	4,243	—
動力費	113	97	▲ 15	86.2	454	—
修繕費	260	266	+6	102.3	1,664	—
業務費	469	387	▲ 81	82.6	2,124	—
線路使用料等	70	68	▲ 1	97.4	284	—
租税公課	98	79	▲ 19	80.3	364	—
減価償却費	330	334	+3	101.2	1,382	—
営業利益又は損失 (▲)	599	▲ 821	▲ 1,420	—	1,197	—
営業外損益	▲ 26	▲ 48	▲ 21	181.4	▲ 127	—
営業外収益	22	19	▲ 2	—	75	—
営業外費用	48	67	+18	—	203	—
経常利益又は損失 (▲)	572	▲ 869	▲ 1,442	—	1,069	—
特別損益	▲ 3	▲ 24	▲ 21	—	▲ 11	—
特別利益	20	19	▲ 0	—	209	—
特別損失	24	44	+20	—	221	—
四半期(当期)純利益 又は純損失 (▲)	400	▲ 617	▲ 1,018	—	735	—

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2021年3月期 1Q実績			
		運輸収入	対前年	主な増減要因	
新幹線	225	▲924 (19.6%)	基礎トレンド (100.0%)		
			特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 843
				・インバウンド	▲ 45
				・曜日配列 (GW) 反動	▲ 34
				・G20反動	▲ 1
等					
在来線	387	▲421 (47.9%)	基礎トレンド (100.0%)		
			特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 376
				・インバウンド	▲ 37
				・曜日配列 (GW) 反動	▲ 5
				・G20反動	▲ 1
等					
在来線	107	▲ 165 (39.4%)	基礎トレンド (100.0%)		
			特殊要因	・新型コロナウイルス (国内)	▲ 151
				・インバウンド	▲ 8
				・曜日配列 (GW) 反動	▲ 4
				・G20反動	▲ 1
等					
在来線計		495	▲ 587 (45.8%)		
運輸収入計		721	▲ 1,511 (32.3%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

※新型コロナウイルス感染症拡大による運輸収入の減収額(21.3期1Q)は、インバウンド需要の減も含め1,463億円

4. 運輸収入と旅客輸送量の実績と業績予想

	運輸収入			(単位：億円)		輸送人キロ			(単位：百万人キロ)	
	1Q実績 (4/1~6/30)			通期実績/予想		1Q実績 (4/1~6/30)				
	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年	2020年 3月期 通期実績	2021年 3月期 通期予想 (7/31)	2020年 3月期	2021年 3月期	対前年		
全社計	2,233	721	▲ 1,511 32.3%	8,568	—	15,159	6,816	▲ 8,343 45.0%		
新幹線	1,150	225	▲ 924 19.6%	4,412	—	5,345	1,042	▲ 4,302 19.5%		
定期	28	25	▲ 3 89.5%	114	—	227	197	▲ 30 86.6%		
定期外	1,121	199	▲ 921 17.8%	4,298	—	5,117	844	▲ 4,272 16.5%		
在来線	1,082	495	▲ 587 45.8%	4,156	—	9,814	5,773	▲ 4,040 58.8%		
定期	360	280	▲ 80 77.7%	1,420	—	5,937	4,631	▲ 1,305 78.0%		
定期外	722	215	▲ 506 29.8%	2,736	—	3,876	1,141	▲ 2,735 29.5%		
近畿圏	809	387	▲ 421 47.9%	3,075	—	7,724	4,587	▲ 3,136 59.4%		
定期	297	229	▲ 67 77.2%	1,172	—	4,879	3,737	▲ 1,141 76.6%		
定期外	511	158	▲ 353 30.9%	1,902	—	2,844	849	▲ 1,995 29.9%		
その他	273	107	▲ 165 39.4%	1,081	—	2,089	1,186	▲ 903 56.8%		
定期	62	50	▲ 12 80.2%	247	—	1,057	893	▲ 163 84.5%		
定期外	210	57	▲ 153 27.2%	834	—	1,032	292	▲ 739 28.3%		

5. 単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

	2021年3月期 1Q実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	520	▲ 21 (96.0%)	・超勤手当の減、単価減 等
動力費	97	▲ 15 (86.2%)	・列車減便による車両キロの減 等
修繕費	266	+6 (102.3%)	・工事進捗差 等
業務費	387	▲ 81 (82.6%)	・発売手数料の減、広告宣伝費の減 等
線路使用料等	68	▲ 1 (97.4%)	・関西空港線使用料の減 等
租税公課	79	▲ 19 (80.3%)	・法人事業税の減 等
減価償却費	334	+3 (101.2%)	・20.3期新規稼働資産の平年度化 等
営業費用計	1,755	▲ 130 (93.1%)	

6.連結損益計算書と業績予想

(単位：億円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	対前年		2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想 (7/31)
			増減	比率(%)		
	A	B	B-A	B/A	C	D
営業収益	3,657	1,633	▲ 2,023	44.7	15,082	—
営業費用	2,997	2,575	▲ 421	85.9	13,475	—
営業利益又は損失 (▲)	660	▲ 942	▲ 1,602	—	1,606	—
営業外損益	▲ 37	▲ 55	▲ 17	148.1	▲ 122	—
営業外収益	13	14	+1	—	88	—
営業外費用	50	70	+19	—	211	—
経常利益又は損失 (▲)	622	▲ 997	▲ 1,620	—	1,483	—
特別損益	▲ 4	▲ 82	▲ 77	—	▲ 76	—
特別利益	23	23	▲ 0	—	230	—
特別損失	28	105	+77	—	307	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は純損失(▲)	425	▲ 767	▲ 1,192	—	893	—
四半期包括利益	420	▲ 789	▲ 1,210	—	870	—

7.セグメント情報と業績予想

(単位：億円)

	2020年3月期 1Q実績 A	2021年3月期 1Q実績 B	対前年		2020年3月期 通期実績 C	2021年3月期 通期予想 (7/31) D
			増減 B-A	比率(%) B/A		
営業収益 ^{*1}	3,657	1,633	▲ 2,023	44.7	15,082	—
運輸業	2,417	849	▲ 1,568	35.1	9,334	—
流通業	565	231	▲ 333	41.0	2,260	—
物販・飲食	385	157	▲ 228	40.9	1,542	—
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【37】	【5】	【▲ 31】	【15.2】	【146】	—
百貨店	157	54	▲ 102	34.6	632	—
不動産業	319	296	▲ 23	92.6	1,651	—
ショッピングセンター	151	71	▲ 80	47.0	611	—
不動産賃貸・販売	163	217	+53	133.0	1,021	—
【不動産販売】(再掲)	【43】	【97】	【+54】	【226.4】	【536】	—
その他	355	257	▲ 98	72.3	1,836	—
ホテル	100	17	▲ 83	16.9	373	—
旅行	87	62	▲ 24	71.5	423	—
営業利益又は損失 (▲) ^{*1}	660	▲ 942	▲ 1,602	—	1,606	—
運輸業	561	▲ 868	▲ 1,430	—	1,053	—
流通業	14	▲ 55	▲ 70	—	38	—
物販・飲食	11	▲ 48	▲ 59	—	34	—
百貨店	1	▲ 7	▲ 8	—	2	—
不動産業	91	66	▲ 25	72.4	349	—
ショッピングセンター	25	▲ 11	▲ 36	—	75	—
不動産賃貸・販売	47	55	+8	117.2	198	—
その他	▲ 13	▲ 75	▲ 61	—	197	—
ホテル	2	▲ 35	▲ 38	—	▲ 12	—
旅行	▲ 10	▲ 26	▲ 15	—	10	—

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「グアイン」の合計値です。ただし、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2021年3月期 1Q実績			主な増減要因
			対前年			
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	157	▲ 228	40.9	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 48	▲ 59	-	
	百貨店	営業収益	54	▲ 102	34.6	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 7	▲ 8	-	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	71	▲ 80	47.0	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 11	▲ 36	-	
	不動産賃貸・販売	営業収益	217	+53	133.0	・販売戸数増 等
		営業利益	55	+8	117.2	
その他	ホテル	営業収益	17	▲ 83	16.9	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 35	▲ 38	-	
	旅行	営業収益	62	▲ 24	71.5	・新型コロナウイルス感染症による減 等
		営業損失	▲ 26	▲ 15	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況

(単位：億円)

	2020年3月期 期末 A	2021年3月期 1Q期末 B	増減 B-A
資産	32,752	34,493	+1,740
負債	20,521	23,222	+2,701
純資産	12,231	11,270	▲960
長期債務残高	10,189	13,857	+3,667
【長期債務平均金利 (%)】	【1.79】	【1.39】	【▲0.40】
新幹線債務	1,019	1,019	—
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【—】
社債	5,449	7,199	+1,750
【社債平均金利 (%)】	【1.48】	【1.17】	【▲0.31】
自己資本比率 (%)	34.1	29.7	▲4.4
1株当たり純資産 (円)	5,847.27	5,352.02	▲495.25

10. 諸元表

(単位：人、億円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期予想(7/31)
連結ROA (%)	2.1	▲ 2.8	4.9	—
連結ROE (%)	3.9	▲ 7.2	8.1	—
連結EBITDA*	1,069	▲ 531	3,322	—
連結減価償却費	406	407	1,704	—
連結設備投資 (自己資金)	328	372	2,545	—
単体設備投資 (自己資金)	185	213	1,762	—
安全関連投資	122	105	1,161	—
1株当たり配当金 (円)	—	—	182.5	—

	2020年3月期 1Q実績		2021年3月期 1Q実績		2020年3月期 通期実績		2021年3月期 通期予想(7/31)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	49,700	25,622	49,903	25,251	48,323	24,439	—	—
金融収支	▲ 46	▲ 29	▲ 44	▲ 32	▲ 182	▲ 167	—	—
受取利息・配当金	2	19	3	15	12	26	—	—
支払利息	48	48	48	48	194	193	—	—

* EBITDA = 営業利益又は損失 + 減価償却費 + のれん償却額

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2020年7月31日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2020年7月31日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>